



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

7月号



中学校部活動の今後

校長 柴田 昌一

三年生にとって最後の夏の大会が始まりました。競技によっては中学校単位での大会出場が今年で最後になるものもあります。奮闘する生徒たちを見ながら、これから変わっていく部活動を思い、感慨深い気持ちになりました。

まず、中学校の部活動の地域移行について、現時点で分かっていることをお知らせします。

岡崎市では部活動の地域移行を指して「三段階プラン」を進めています。

まず、令和七年度までに各中学校を地域ブロック化し部活動を行う「子供の活動の地域移行」を進めます。また、令和八年度から十年度にかけては、活動場所の整備等を行う「活動場所の地域移行」を、令和十一年度には運営の主体を学校から地域へ移行する「運営主体の地域移行」を計画しています。昨年度の夏から、種目ごとに段階的に「子供の活動の地域移行」が始まり、葵中からも他校で実施しているアーチェリーと弓道の土日等の活動に参加しています。今

年度の夏の大会終了後は、ソフトボールとハンドボール、柔道も地域移行が始まります。

休日や長期休業中の練習は、拠点校で行います。平日の練習は、当番は各学校に行いますが、生徒の移動方法や開始時刻の調整など諸々の条件を整えば、拠点校での活動に移行していく予定です。

ハンドボール(男子)の拠点校は葵中、ソフトボールの拠点校は城北中です。具体的には、葵中の生徒たちは城北中、岩津中、新香山中、北中の生徒たちと一緒にそれぞれの部活動の拠点校で活動していくこととなります。

来年度の夏からは、さらに多くの部活で「子供の活動の地域移行」が行われ、その夏の大会が葵中学校としての最後の出場になります。地域ブロック部活動に移行すると、チーム名が変わり、ユニホームも新しくなるでしょう。これまでの総体や市長杯の様子とは大きく変わることとなります。

令和八年度からは、活動場所の整備等を行う「活動場所の地域移行」が始まります。現在、岡崎市の担当者たちが、学校以外の会場も含め、活動場所を検討しています。必要な場所には夜間照明など、活動に必要な設備を設置していく計画です。

ところで、地域移行が進んでいくのが水泳です。先日の市長杯で岡崎市としての大会は終了しました。今後、水泳は地域のスイミングクラブに移行します。したがって、本年度の西三大会からは、学校間

係者に加えて地域クラブの方にも運営に参加していただきました。

この水泳競技最後の大会で、最終種目であった四百メートルリレーでは、参加選手の名前がアナウンスされる会場から大きな拍手が湧きあがり、競技が始まるとこれまでにないほどの大歓声が響きわたりました。その中、葵中学校は県大会への出場を決めました。

ゴールした選手たちのガッツポーズと笑顔が心に残りました。県大会出場への標準タイムを切れたのは、予想以上の大健闘でした。この最後の水泳市長杯では各校奮闘し、例年をかなり上回る九種目において新記録が生まれました。生徒の頑張りに加え、会場内の熱い応援が出場する選手の背中を押しただと感じています。大会運営を行った教員の目も心なしか潤んでいました。長い歴史が閉じるといえるのはこういうことなのだと感じました。

部活動の地域移行によって、今までの学校単位の活動より勝手が変わり不便に思うことも出てくるかもしれませんが、

しかし、岡崎市内の中学校に現存するすべての部活動への参加が可能となったり、指導者の招聘することにより、専門的な指導が受けられやすくなったりと、利点もたくさんあります。葵中生にとっても形は変わっても、中学生にとって有益な部活動になるように努めて参ります。皆さんの変わらぬ活躍を期待しています。

葵夏祭りを終えて

企画を通して学んだこと

生徒会役員

葵夏祭りを企画する際、葵中が一つになって盛り上げられる時間を、少しでも多く過ごしてほしいという想いが僕にはありました。体育館に集まり、全校でじゃんけん大会を行うという初めての試みや、各クラスでの競技の企画を通して感じたことは、物事の順序や効率を考へることの難しさ、と、参加する人がどうしたら心地よくいられるか、相手の立場になって考へることです。この貴重な経験を日頃の学校生活で生かしていけるように意識したいです。

協力した葵夏祭り

一年六組

中学校生活初めての葵夏祭りをとても楽しみにしていました。だけど、私は級長として、短時間で準備をできるようにクラスのみんなに上手く説明できるか不安でした。実際にやってみると、役割分担など決めないといけないことも、みんなが協力してくれたのでなんとかがり終えることができました。

当日は、お客さんを楽しませられる運営ができ、うれしかったです。クラスみんなで一緒に頑張れたことが、よい思い出となりました。

成長の思い出

二年三組

楽しみにしていた葵夏祭り。僕たちのクラスは「の」の字探しを行うことになり、役割決めや、準備、練習などみんなで協力して行っていました。迎えた当日は、廊下に並ぶほどの多くのお客さんが来てくれ、クラスみんなが笑顔で取り組むことができました。

この葵夏祭りでクラス全体の団結力が高まったことを実感しました。このみんなで高めたことを、今後の行事に繋げていきたいです。

仲間と味わった達成感

三年一組

三年生にとって最後の葵夏祭り。私たちのクラスでは、「三十秒フリースロー」を行いました。とても暑い体育館の中で、みんなが夢中になって協

力しながらそれぞれの役割を果たしていました。私は、「楽しかった」という声が聞こえてくるたびに、達成感と喜びを味わいました。

全校で作り上げた葵夏祭りは、達成感であふれ、学級、学年を越えた絆が深まった最高の思い出になったと思います。

葵夏祭り

三年D組

葵夏祭りの出し物として、開発学級ではペンギンカーリングを準備しました。夏祭り当日、なかなか人が集まらず心配していました。が、みんなで呼びかけることで人が集まり、友達も遊びに来てくれました。楽しくカーリングをしている様子を見ていると、頑張っ

て準備をしてよかったです。と思いきや、自分がお客さんとして、PTAの皆さん、冷たいプレゼントをありがとうございます。



て楽しむこともでき、最後にはPTAの皆さんにアイスをいただいたり最高の思い出を作ることができました。

修学旅行を終えて

学び多き修学旅行

三年五組

私たち三年生は修学旅行を通してたくさんのことを学ぶことができました。一日目、国会議事堂や日光へ行き、日本の歴史や政治について学びました。もっと知りたいと思うことばかりで、強く興味を惹かれました。

二日目の東京班別行動では、慣れない東京の街を班の仲間と協力し合い、行動できました。仲間の知らない一面も見ることができた貴重な機会にもなりました。三日目は東京デイズニーシーへ行き、アトラクションを楽しんだり、お土産を買ったりして、楽しく、思い出に残る時間となりました。

修学旅行を通して、自律へ向けての一步を踏み出せたと思います。たくさんの方々の協力があり、この学び多き修学旅行を行えたことを感謝します。

一学期を振り返って

「彩幸の絆」を目指して

一年二組

期待と緊張感をもって待ち望んだ入学式。初めて出会う仲間との新しい教室。初めは不安もありましたが、今ではとても楽しく過ごしています。あつという間だったこの一学期では、クラスや学年の絆がとても深まりました。その理由の一つ目は、中学校に入ってから初めての行事、海の学習で仲間のことをたくさん知ることができたからです。雨の多い二日間でしたが、少しの晴れ間でウォークラリーをしたり、雨のおかげでたくさんレクをしたりして、みんなで楽しむことができました。二つ目は、葵夏祭りで仲間と支え合うことができたからです。クラスで企画したレクを協力して作り上げ、当日もみんなで臨機応変に動くことができました。

この二つの行事で深めた絆が、これからも、仲間間を知り、お互いに尊重し合い、協力し合うこと

によって、私たち一年生の「彩幸の絆」になるようにつないでいきます。

大きな経験

二年五組

一学期は僕にとって大きな経験がたくさんありました。その中でも特に印象に残っているのは二つです。

まず一つ目は、葵夏祭りで。私は級長としてみんなの役割を決めたり、運営方法を考えたりしました。計画が甘く練習がうまくいかなくて不安でしたが、当日無事に行うことができました。この経験を通じて、計画を立てて実行することの大切さや、協力することの重要性を学びました。

二つ目は部活動の大会です。自分は試合中は出場しませんが、全力でチームを応援しました。三年生の最後の試合では、チームの絆が一層深まり、全員が協力して勝利を目指しました。結果にかかわらず最後まであきらめずに戦えたことを誇りに思います。

一学期では多くの成長と学びがありました。これからもこれらの経験をともにさらに成長していきたいと思えます。二学期もこの経験を活かして前向きに挑戦していきたいです。

一学期を振り返って

三年二組

四月、期待

と不安で胸がいつぱいだったあの頃から

時が流れ、いよいよ明日からは夏休みが始まります。

始まり環境に慣れないこともあり戸惑うこともありましたが、大きく成長することができました。特に修学旅行では、五分前行動をすることで時間への意識が高まったこと、周りを見て自分から行動することの大切さを学びました。これらの学んだことを今後の学校生活の中で生かしていきたいです。

そして、私たちはこれから受験に向けて学習中心の生活へと大きく変化していきます。今の私たちはこれから気持ちを切り替えて高校受験へと向かっていかなければなりません。人生初めての進路選択。自分を甘やかすのではなく、自分の為になる道を選びたいと考えています。

この一学期までの楽しかったこと、努力したこと、辛かったことの全てを糧として、二学期からの学校生活も全力を尽くしていきたいと思えます。

あおいMAXを終えて

新しい試み

生徒会役員

今年度初めてのあおいMAXは、去年卒業された先輩方の想いを受け継ぐ大切な機会となりました。

今回は、葵中生が当たり前のよう履いている白靴について話し合いをしました。一人一人が白靴の校則を見直し、学年問わず、いろいろな視点から意見が上がり、よい話し合いになりました。

七月一日より、お話し期間を実施し、終了後には事後アンケートを行い、これからの校則について考えていきます。よりよい葵中学校を目指して、今後も活発な意見を出し合い、楽しく笑顔あふれる学校にしていきたいです。

最後の夏、いざ出陣 選手激励会・市長杯

表彰の記録

第五一回全日本中学校陸上競技

選手権大会西三河予選会

中学一年男子一五〇〇m 二位

中学一年女子八〇〇m 一位

中学共通女子一〇〇mH 一位

西三河中学校選手権大会

中学一年男子一五〇〇m 三位

第七回愛知県中学校選抜

女子四種競技 五位

第七〇回全日本中学校通信

陸上競技愛知県大会

一〇〇mH 八位

※ さんは、全国標準記録を突破したため、八月に福井県で行われる全国大会への出場が決定しました。

二〇二四年度水無月杯

一八m部門 二位

岡崎市民新人卓球大会

一・二年の部 三位

中日コンクール西三河北地区大会

銀賞 吹奏楽部

※市長杯の結果については、次号で報告いたします。

今後の予定

八月

二八日(水) 二期期始業式

二九日(木) 四時間授業、給食なし

三〇日(金) 第一回岡崎学力検査(二年)

実力テスト(三年)

給食開始

九月

三日(火) 生徒集会

五日(木) ひまわりP

六日(金) 授業参観・部活動参観(午後)

七日(土) 岡崎市民陸上

八日(日) 吹奏楽祭

一日(水) 委員会(前期最終)

二日(木) 後期生徒会役員選挙

四日(土) 市水泳記録会

九日(木) 中間テスト一日目

二〇日(金) 中間テスト二日目

伊賀川P

二七日(金) 新人戦選手激励会

一〇月

一日(火) 第二回岡崎学力検査(三年)

二日(水) 体育大会①

四日(金) 体育大会②



祭が丘

多くの価値観に触れる

生徒指導主事

価値観や常識は時代によって変わります。新型コロナウイルスの流行による社会の変化やAIの発展によって、今までは違う時代を生きていくことになる中学生。そんな時代を生き抜くために、様々な価値観や考え方に触れることが大切になってきています。自分とは違う価値観に触れ、多くの視点から物事を考えられるように、中学校では道徳の授業を実践しています。

私は道徳の授業で、生徒に「世界で一番強い人はどんな人なのか?」と尋ねたことがあります。生徒からは、「両親」「友人」「スポーツ選手」など、様々な意見が出てくる中で、ある生徒が「一人ひとりが世界で一番強い人と発言をしました。その瞬間クラスからは、なるほど」と声があがり、新たな価値観に出合った瞬間を目にすることができました。道徳には答えがありません。「世界で一番強い人はどんな人なのか?」に答えがないからこそ、今まで自分になかった考え方に触れることができたのです。そして、様々な価値観を知り、自分の価値観を深めることで広い視野から物事を捉えることができるのです。

